

大和国道穂村巽家文書概要

- 1: 文書群番号 087018
- 2: 文書群名 大和国道穂村巽家文書
- 3: 出所 巽家
- 4: 家業・役職等 未詳
- 5: 地名 大和国葛下郡道穂村／奈良県葛下郡道穂村／堺県葛下郡北道穂村／大阪府葛下郡北道穂村／奈良県葛下郡新庄村北道穂／奈良県北葛城郡新庄町北道穂
- 6: 行政区分 新庄藩領／幕府領／奈良県葛下郡道穂村／堺県第4大区第5小区／大阪府北道穂村戸長役場／大阪府柿本外7ヵ村戸長役場／奈良県葛下郡新庄村／奈良県北葛城郡新庄町
- 7: 歴史 道穂村は大和川の南東に位置し、河内国との国境に近い村で、近世は桑山氏新庄藩の陣屋町の北隣にある農村であった。「旧高旧領取調帳」によれば、道穂村北方は326,629石、道穂村南方は372,79石であった。明治前期までは綿作が盛んであったが、その衰退後は昭和戦前期まで稲作とスイカ栽培が中心となった。
- 8: 伝来 昭和63年（1988）1月13日に尼崎市在住の巽清一氏より受入れ、平成15年（2003）2月に整理・目録作成を完了した。巽氏の生家に伝来した文書群であるが、地元を受入先がないため、15年8月に史料館へ寄贈された。
- 9: 史料入手先 巽清一氏
- 10: 点数 18点（目録件数18件）
- 11: 年代 弘化3年（1846）～大正元年（1912）
- 12: 構造と内容 本文書群は、北道穂村の巽家に関わる文書である。奉公人請け状や油粕代年賦証文などの近世文書のほかは質物証文や徴兵検査出頭状など、明治期の史料が中心である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛